

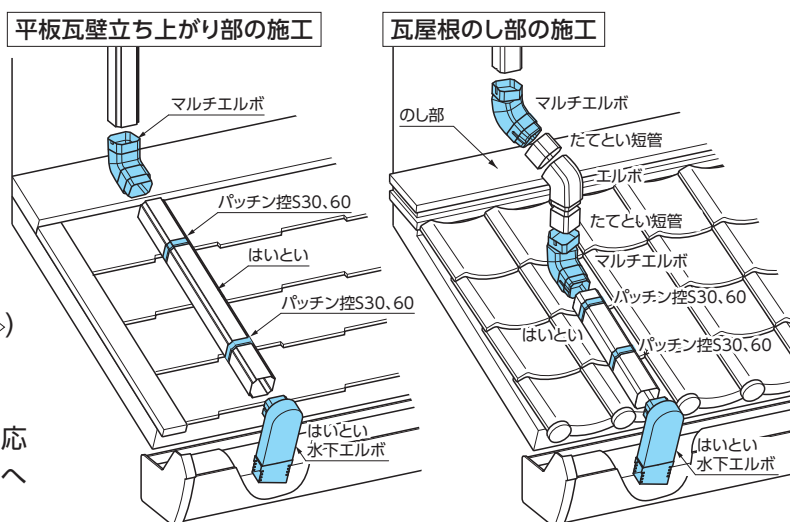
⑩ はいとい納まり



■接着剤は必ず接着剤塗布位置に塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

1 下屋部の取り付け(マルチエルボ、はいとい水下エルボ使用)

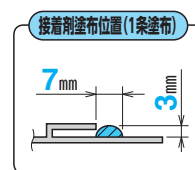
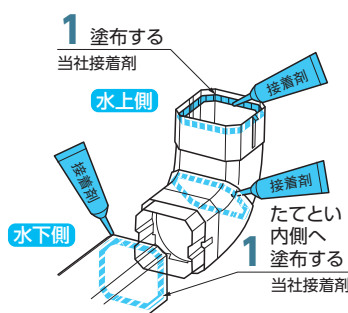
- マルチエルボは、のし部の角度に合わせて接着固定してください。(スライド幅100～135°)
- マルチエルボ、エルボなどの矢印(⇨)は水下側に向くように固定してください。
- はいとい水下エルボの排出カバーの矢印(⇨)が水下側になるように固定してください。
- パッチン控はいとい用PC30は特注品で対応いたします。詳細はケイミュー(株)営業所へお問い合わせください。



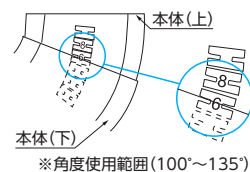
2 たてといの接着

【マルチエルボの場合】

- 1 水上側は、差込口に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。



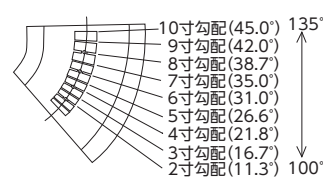
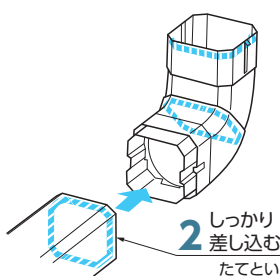
■勾配表示について



- 2 矢印(⇨)を水下方向にし、たてといを二重差込口の奥までしっかり差し込む。

ポイント

- 接着剤塗布方法を厳守してください。
- 水下側はたてといの内側へ接着剤を塗布してください。
- スライド部にも接着剤を塗布してください。



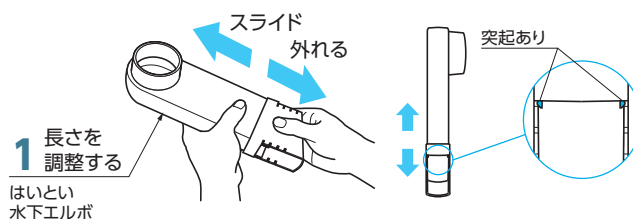
3 はいとい水下エルボの取り付け

【はいとい水下エルボの種類】

一般地用				積雪地用			
PC30	S30	メタリック調 たてとい60	60	PC30	S30	メタリック調 たてとい60	60

【スライド調整】

1 はいとい水下エルボ本体と排水カバーをスライドさせて、長さを調整する。



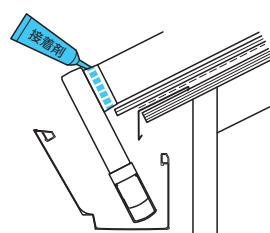
2 排水カバーの位置を現場に合わせて調整する(調整しろは30mm)。長すぎる場合はカットする。カットした場合は、接着してください。



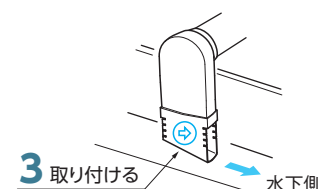
3 流れ方向を確認して水下側に矢印(⇨)が向くよう、本体に取り付ける。

※梱包状態では排水カバーは接着していません。
排水カバー取り付け後、はいといに接着剤で取り付けてください。

■軒といの位置関係

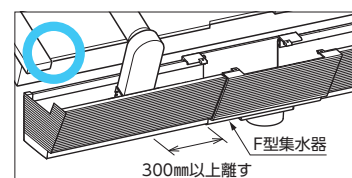
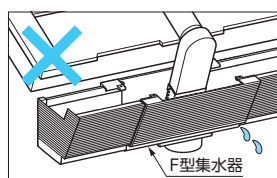


■排水の方向



お願い

- はいとい水下エルボを集水器、F型集水器の直上に取り付けると、排水により雨だれのおそれがありますので、300mm以上離してください。
- ※はいとい水下エルボが集水器の真上にくる場合は排水カバーの底部をカットしてください。



- 瓦と軒といの隙間が狭い場合は通常のエルボを使わず、はいとい水下エルボを使用してください。無理にエルボなどを使用すると、軒といの変形やはいといに割れ、外れがおきるおそれがあります。

